

埼玉県立自然の博物館の使命について

県立自然と川の博物館は、自然及び川と人々の暮らしとの関わりに関する資料の収集・保管及び調査研究を行うとともに、その活用を図り、もって教育、学術及び文化の発展に寄与する博物館です。

自然の博物館は、「過去から未来へ埼玉3億年の旅 そして自然と人との共生」をテーマに、自然資料を収集・保管し、調査研究して将来へ継承し、情報を発信します。

また、学習を支援して、自然に関心を持つよう人材を育成し、様々な人との連携・交流を進めます。

川の博物館と連携し、県内唯一の自然系総合博物館として、秩父地域から埼玉全域へと視野を広げ、県民のみなさんとともに考え行動しながら、旺盛な博物館活動を展開していきます。

1 自然史資料を収集・保管し、調査研究して、将来へ継承します。(データバンク機能)

自然史分野を総合的に扱える県内唯一の博物館として、埼玉の自然とその変遷に関する生物・岩石・化石資料や、自然と人との共生に関する資料を収集・整理・保管します。また、これらの資料を調査研究し、埼玉の自然について明らかにしていくとともに、資料価値を高め将来へ遺します。

2 資料を活用し、多彩な情報を発信します。(情報発信機能)

「過去から未来へ 埼玉3億年の旅 そして自然と人との共生」をテーマに、展示や教育普及活動などを通じて、県民をはじめとする広範な人々へ情報を提供します。利用者の多様なニーズに合わせ、自然に親しむための情報や調査研究に基づく学術情報など、魅力的な情報を発信します。

3 学習を支援し、自然に関心をもつ人材を育成します。(学習支援・人材育成機能)

学校や社会教育施設、地域社会を対象に、地域の自然や館有資料を活用した体験学習を推進・支援します。これらの体験学習や展示を通じて、人々の知的好奇心を刺激し、自然に関心をもつ人材の育成に貢献します。

4 様々な人々と連携・交流を進めます。(連携・交流・啓発機能)

自然に関心をもつ個人、地域社会、関係機関・諸団体と連携・交流を進めます。こうしたネットワークを少しずつ広げながら、人・もの・情報が集まる博物館とすることにより、相互のレベルアップを図っていきます。

I 沿革

昭和

- | | | |
|----------|--------------------------------------|---|
| 51.12 | 埼玉県中期計画に基づき自然系博物館の建設計画検討 | 職員所長以下5名発令 |
| 52.5 | 準備事務を県民文化課から文化財保護課に引継 | 55.4.17 埼玉県立自然史博物館(仮称)建築工事起工式
挙行 |
| 52.11 | 県立自然系博物館建設基本計画決定 | 55.9.19 展示企画・基本設計委託(7社) |
| 52.11.16 | 埼玉県立自然系博物館建設基本構想策定協議会委員14名委嘱 | 55.10.1 準備事務所職員10名発令(5名増員) |
| 53.4.1 | 自然系博物館設立準備委員2名発令 | 56.1.26 展示実施設計を(株)日展に委託 |
| 53.6.16 | 自然系博物館建設敷地決定(長瀨町) | 56.3.31 建築工事完成 |
| 54.2.6 | 埼玉県立自然系博物館展示構想策定委員4名委嘱 | 56.4.1 準備事務所職員19名発令 |
| 54.4.1 | 準備委員4名発令(2名増員)、建設敷地等について秩父鉄道(株)と協定締結 | 56.4.30 展示製作業務を(株)日展と契約 |
| 54.9.25 | 建築基本及び実施設計を前川国男建築設計事務所へ委託 | 56.10.30 展示工事完成 |
| 55.4.1 | 埼玉県立自然史博物館(仮称)準備事務所開所、 | 56.11.10 埼玉県立自然史博物館条例、同管理規則施行
埼玉県立自然史博物館開館、館長須藤和人以下職員18名発令 |
| | | 56.11.11 一般公開 |
| | | 56.12.3 博物館法第10条による博物館登録 |
| | | 59.4.1 館長 三友清史発令 |
| | | 60.10.9 入館者累計50万人達成 |

- 60.12.9～21 アケボノゾウ骨格化石発掘調査
- 61.4.1 館長 紺野雄三発令
- 平成**
- 1.4.1 館長 島田道郎発令
- 2.4.21 入館者累計 100 万人達成
- 3.3.12 日本生命財団から展示総合案内寄贈
- 3.4.1 館長 大熊欽一発令
- 3.10.19～11.24 開館 10 周年記念特別展「よみがえる太古の巨大ザメ」開催
- 5.5.12 天皇・皇后行幸啓
- 5.12.12 「日本地質学発祥の地」記念碑建立式典挙行
- 6.4.1 館長 中島利治発令
- 6.10.1 入館者累計 150 万人達成
- 6.11.21 新化石種「チチブサワラ」公表
- 7.2.28 身障者用エレベーター設置
- 7.3.15 映像展示「地形の変遷」改修
- 7.12.25 映像展示「ミクロ・マクロの世界」改修
- 8.3.27 第 1～第 3 収蔵庫空調機オーバーホール
- 9.3.31 吸収冷温水発生機修繕工事
- 9.7.22 地形模型、変成岩パネル等展示改修
- 9.7.25 秋篠宮殿下同妃殿下お成り
- 9.10.31 冷却塔水処理装置工事
- 10.2.28 特別収蔵庫空調機器交換工事
- 10.4.1 館長 梅沢太久夫発令
- 10.9.30 公共下水道接続工事
- 11.3.19 「パレオパラドキシア」埼玉県天然記念物指定 (埼文指第 462・463 号)
- 11.5.30 生物展示ホール「シャクナゲ咲く初夏の原生林」・「暗黒の世界鍾乳洞」にタッチライト設置
- 11.7.17～8.31 特別展「アユの生活誌」をさいたま川の博物館と共催
- 12.4.1 館長 増田逸朗発令
- 12.8.15 入館者累計 200 万人達成
- 12.8.23 生物展示ホール「みどりこい夏のアカマツ林」にタッチライト設置
- 12.10.1 館長 大友務発令
- 13.5.8 生物展示ホール「冬枯れの雑木林と池や沼」にタッチライト設置
- 14.3.18 生物展示ホール照明改修
- 14.3.26 身障者用駐車場改修
- 14.6.21 パレオパラドキシア般若標本の産出状態レプリカを展示
- 14.8.9 オリエンテーションホールの照明改修
- 14.10.5～12.8 特別展「奥秩父の自然」開催
- 14.10.8～12.8 特別展「ヤマネー森に棲むもの 西村豊写真展」開催
- 15.4.1 館長 谷井彪発令
- 15.10.4～12.9 特別展「里山の自然」開催
- 16.12.27 駐車場改修工事完了 (第二工区)
- 17.3.22 「大野原産チチブクジラ骨格化石」埼玉県天然記念物指定 (埼文指第 503 号)
- 17.4.1 館長 柿沼幹夫発令
- 17.10.8～12.4 特別展「石の用と美」開催
- 18.4.1 県立博物館施設の再編により「県立自然の博物館」設置
- 18.4.1 館長 柿沼幹夫発令 (川の博物館長と兼務)
- 18.7.22～9.3 特別展「巨大昆虫の世界」開催
- 19.4.1 館長 本間岳史発令 (川の博物館長と兼務)
- 19.11.23 入館者累計 250 万人達成
- 20.2.2 展示室リニューアルオープン
- 20.4.1 館長 本間岳史発令 (兼役)
- 20.4.1 環境担当 (川の博物館常駐) を設置
- 20.7.20～8.31 特別展「巨大昆虫の世界 II」開催*
- 21.4.1 館長 鈴木敏昭発令
- 21.7.18～8.81 特別展「埼玉圏の原始・古代人」開催*
- 22.4.1 館長 井上肇発令
- 22.9.18～11.14 特別展「葉の世界—そのかたちと利用を探る—」開催*
- 23.4.1 館長 根岸玲発令
- 23.9.1～24.10.5 施設改修のため休館
(講師派遣等館外で行う事業は実施)
- 23.9.17～11.20 特別展「発掘・発見 埼玉のふるさと 秩父のおごっつおう」開催*
- 24.4.1 館長 渋澤重雄発令
- 24.7.14～9.2 特別展「今だって氷河時代」開催*
- 24.10.6 リフレッシュオープン
- 25.4.1 館長 井上尚明発令
- 25.7.13～9.1 特別展「和船大図鑑—荒川をつなぐ舟・ひと・モノ—」開催*
- 26.4.1 館長 井田秀夫発令
- 26.6.11～10.26 特別展「恐竜時代 ～海と陸の支配者たち～」開催

26.10.4～11.24 特別展「荒川流域の鉱山と産業 ～地下資源の利用と人々の暮らし～」開催*

27.7.11～8.31 特別展「うんち・糞・フン～ダンゴムシからゾウまで～」開催

27.7.18～8.31 特別展「魚と人の知恵くらべ～魚の生態と伝統漁法～」開催*

28.3.1 国天然記念物「古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類化石群」指定（パレオパラドキシア及びチチブクジラ計3件県指定解除埼文指第462、463、503号）

28.4.1 館長 中村修美発令

28.4.1～6.19 特別展「都幾川・槻川」開催*

28.8.12 入館者累計300万人達成

28.9.24～29.1.15 特別展「現代有用植物～暮らしと植物のステキな関係～」開催

29.4.1 館長 木村博昭発令

29.7.15～9.3 特別展「神になったオオカミ～秩父山地のオオカミとお犬様信仰～」開催*

29.9.23～30.1.14 特別展「秩父鉱山～140種の鉱物のきらめき～」開催

30.6.30～9.2 特別展「ハチを知る」開催

30.11.3～31.1.6 特別展「カモ・鴨～見・知・獲・食～」開催*

31.4.1 館長 飯田徹発令

令和

1.7.6～2.1.13 特別展「知って！埼玉 化石でたどる2000万年」開催

1.7.13～1.9.1 特別展「根・子・ネズミ～ネズミワールドへようこそ～」開催*

2.7.11～2.9.6 特別展「楽しい美味しい江戸の水辺」開催*

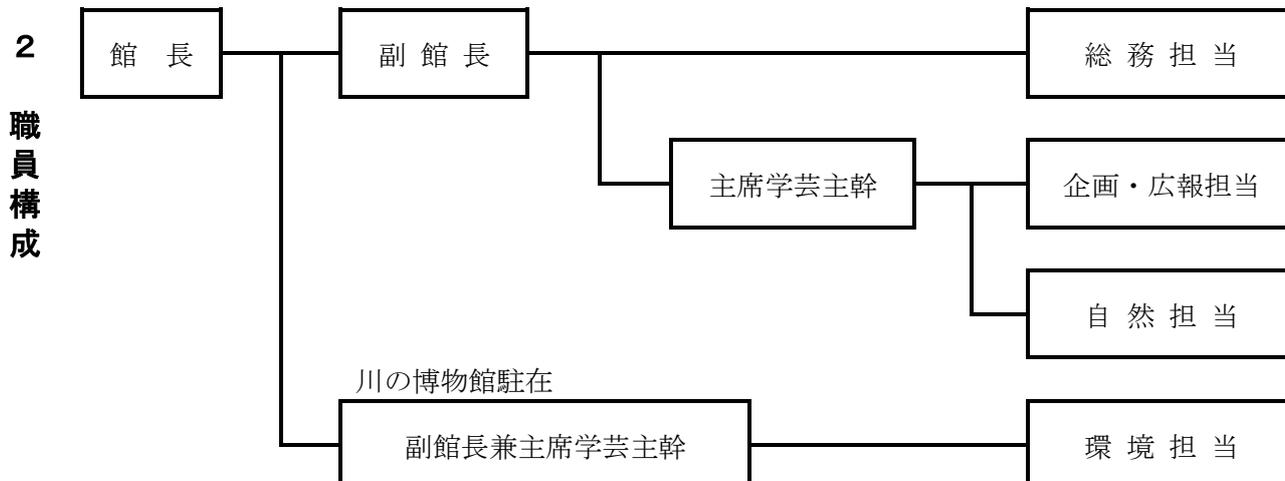
2.9.26～3.2.28 特別展「埼玉記念物100年—埼玉の天然記念物ってどう思いますか？—」開催

3.4.1 館長 橋本強発令

*印 企画＝自然の博物館、実施＝川の博物館

II 組織及び職員構成（令和3年度）

1 組織



(令和3年4月1日現在)

館長	橋本 強
副館長兼主席学芸主幹	西口 由子
副館長	飯村 光良
○総務担当	
担当課長	丸岡 康弘
主任	松岡 敬弘
主事	八子 拓弥
○企画・広報、自然担当	
主席学芸主幹	君島 勝秀
○企画・広報担当	
担当課長	飯島 俊
担当課長	横田 淳
主任	秋元 清二

○自然担当	
担当課長	曾根崎 猛史
主任学芸員	井上 素子
主任学芸員	小林 まさ代
学芸員	木山 加奈子
学芸員	半田 宏伸
学芸員	山岡 勇太
○環境担当	
学芸員	須田 大樹
学芸員	奥村 みほ子

※ 副館長兼主席学芸主幹、環境担当は川の博物館駐在。

3 人事異動

令和3年3月31日

館長	飯田 徹 (転出)
副館長	小久保 達夫 (転出)
副館長兼主席学芸主幹	伴瀬 宗一 (転出)
総務担当主任	棚澤 進也 (転出)
総務担当主事	江森 悠太 (任期満了)
企画・広報担当担当課長	秋山 浩美 (定年退職)
企画・広報担当担当課長	森田 知貴 (転出)
自然担当学芸員	鐵 慎太朗 (任期満了)
自然担当学芸員	高橋 美織 (任期満了)

令和3年4月1日

館長	橋本 強 (転入)
副館長兼主席学芸主幹	西口 由子 (転入)
副館長	飯村 光良 (転入)
総務担当主任	松岡 敬弘 (転入)
総務担当主事	八子 拓弥 (転入)
企画・広報担当担当課長	飯島 俊 (転入)
企画・広報担当担当課長	横田 淳 (転入)
自然担当学芸員	木山 加奈子 (配置転換)
環境担当学芸員	須田 大樹 (配置転換)
自然担当主任学芸員	小林 まさ代 (昇任)

Ⅲ 施設の概要

1 所在地

埼玉県秩父郡長瀨町長瀨1417番地の1

2 敷地面積

9,948.76㎡

3 建物の構造及び床面積

鉄筋コンクリート、2階建、建築面積 2,068.6㎡ 延床面積 3,022.29㎡

4 各部門及び各室の面積

(1) 展示部門 1,160.0㎡(38.4%)

エントランスロビー(78㎡)、オリエンテーションホール(254㎡)、地学展示ホール(303㎡)、生物展示ホール(342㎡)、さわれるはく製コーナー(5㎡)、企画展示室(150㎡)、ディスカバリーコーナー(22㎡)、カエデコーナー(6㎡)

(2) 教育部門 269.5㎡(8.9%)

講堂(150㎡)、準備室(43㎡)、科学教室(73.5㎡)、倉庫(3㎡)

(3) 研究部門 202.5㎡(6.7%)

学芸員室(132㎡)、図書室(70.5㎡)

(4) 技術部門 158.4㎡(5.2%)

化石処理室(27㎡)、石工室(27㎡)、植物標本製作室(27㎡)、動物標本製作室(27㎡)、工作室(23.6㎡)、くん蒸室及び同前室(16㎡)、暗室(10.8㎡)

(5) 保管部門 529.9㎡(17.5%)

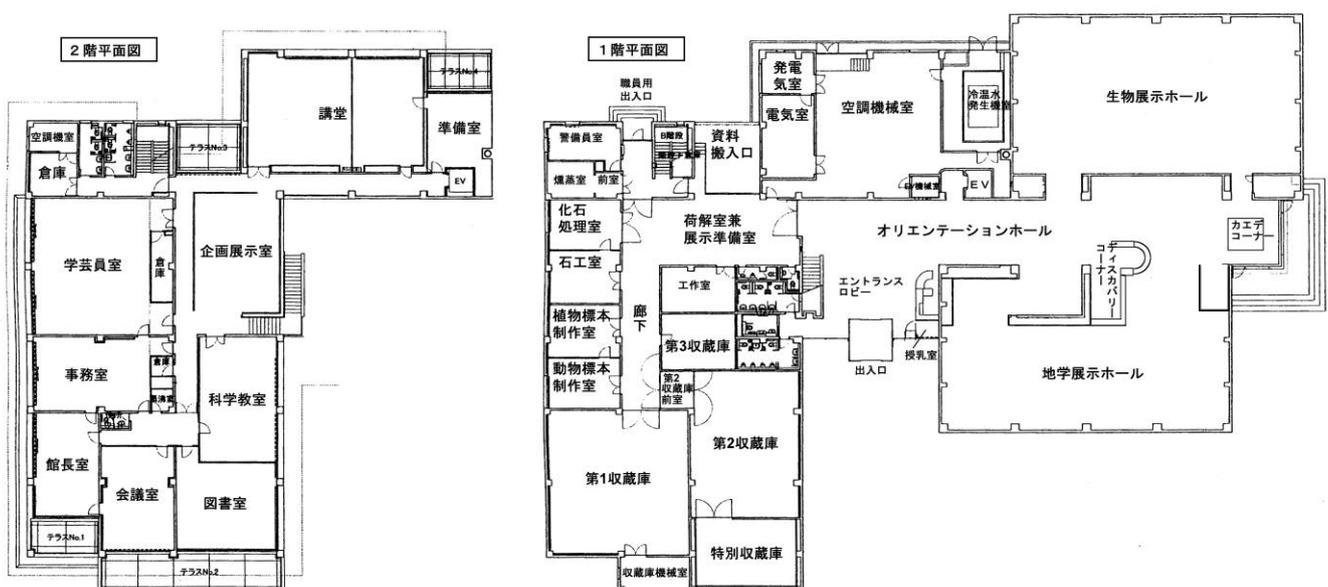
第1収蔵庫(149㎡)、第2収蔵庫及び同前室(125.7㎡)、第3収蔵庫(28.8㎡)、特別収蔵庫(58.4㎡)、資料搬入口(36㎡)、荷解室兼展示準備室(90㎡)、搬入通路(42㎡)

(6) 管理部門 498.1㎡(16.5%)

館長室(47.3㎡)、事務室(63㎡)、会議室(54㎡)、警備員室兼清掃員室(20.8㎡)、倉庫(23.8㎡)、機械室(261.5㎡)、空調機械室(9.7㎡)、収蔵庫機械室(18㎡)

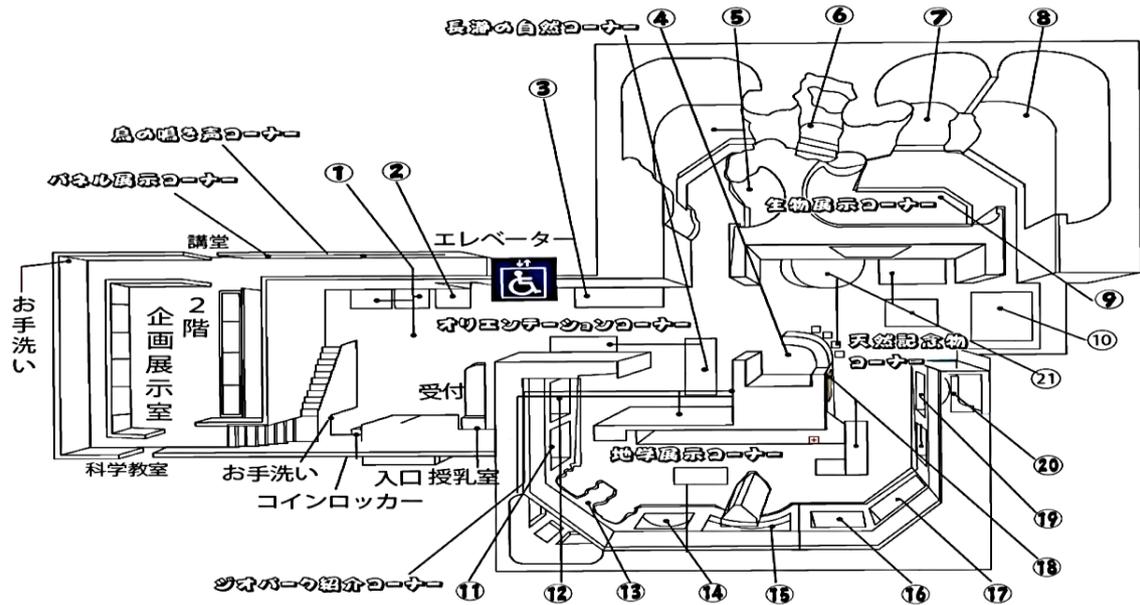
(7) その他 (共通) 203.89㎡(6.7%)

エレベーター(11㎡)、湯沸室(3㎡)、トイレ(4ヶ所・66.8㎡)、階段・廊下(123.09㎡)



IV 展示の概要

1 展示ホールの概要



2 展示テーマ (丸数字は上の図と対応している)

◇ オリエンテーションホール

- ・ (総合サイン) 過去から未来へ
埼玉3億年の旅 そして自然と人との共生
- ・ カルカロドンメガロドン①
- ・ 埼玉県のシンボル②
- ・ 埼玉の多様な生きものコーナー③
(さわれるはく製コーナー含む)
- ・ ディスカバリーコーナー④ (現在利用中止)
- ・ 植物コーナー⑩

◇ 地学展示ホール

- ・ ジオパークインフォメーション(紹介)コーナー
長瀨の地質
秩父・長瀨の地質学史と博物館のあゆみ
長瀨の自然コーナー (岩畳紹介コーナー)
- ・ 荒川上流部
- ・ 秩父帯の地層
2億5000万年前の海の様子⑪
秩父帯の地層⑫
秩父鉾山⑬
- ・ 恐竜時代の地層⑭
山中地溝帯
1億年前の海と陸のようす
恐竜ガリミスブラツス
- ・ ソールマーク
- ・ 埼玉の変成岩⑮
- ・ 盆地と丘陵⑯
- ・ 砂泥互層

- ・ 第四紀の化石
- ・ 新時代の幕あけ
第四紀はじめの化石林—メタセコイア—⑰
- ・ 地層の断面
- ・ チチブクジラ頭骨化石
- ・ アケボノゾウがいたころのようす⑱
- ・ アケボノゾウ骨格復元模型⑱
- ・ 第四紀地形の変遷(ビデオ展示) ⑲

◇ 天然記念物コーナー

- ・ オガノヒゲクジラ頭骨化石⑳
- ・ パレオパラドキシア(全身化石・復元模型) ㉑

◇ 生物展示ホール

- ・ シャクナゲ咲く初夏の原生林⑤
- ・ 石灰岩にきざまれた自然の造形、鍾乳洞⑥
- ・ 石灰岩地と鍾乳洞の生き物⑥
- ・ いろどられるブナ林と溪流⑦
- ・ 冬枯れの雑木林と池や沼⑧
- ・ みどりのこい夏のアカマツ林⑨

◇ 企画展示室(2階)

○各ホールの展示とは別に、年3～4回テーマを設定し展示。

◇ パネル展示コーナー(2階)

○季節の移り変わりを写真中心とした展示。

◇ 鳥の鳴き声コーナー(2階)

○身近な鳥のはく製を展示し、その鳴き声を音声ガイドにより聞くことができる。

V 令和3年度事業計画（令和3年4月1日現在）

1 管理運営事業

埼玉の自然及び自然と人々の暮らしとの関わりに関する資料の収集、整理保管、調査研究及び教育普及、展示事業等を推進するため、自然の博物館全般の円滑な管理運営に努める。

2 展示事業

展示の充実を図るとともに、県民の多様なニーズに応えるため、次の事業を実施する。

(1) 常設展示の充実と維持管理

① 常設展示の充実

生物展示ホール及び岩畳紹介コーナーの展示物を定期的に交換し、タイムリーな季節の情報を発信するとともに、鳥コーナー、埼玉の生物コーナー、地学展示ホール、岩石・化石コーナーの展示物の更新を随時実施し、資料の劣化防止及び活用を図る。

② 「体験ゾーン」の維持管理

ディスカバリーコーナー、植物コーナーでの展示物の更新を随時実施する。

(2) 特別展の実施

① タイトル：「自然の博物館100年の軌跡～標本陳列所から自然史の足跡をたどる～」

期間：令和3年10月30日（土）～令和4年2月27日（日）

会場：企画展示室

概要：前身の秩父鑛物植物標本陳列所から秩父自然科学博物館を経て、全国初の県立自然系総合博物館として開設した当館のあゆみとこれからの展望を紹介する。

② タイトル：「すみか～身近なすみかを見てみよう～」

（企画：自然の博物館、運営：川の博物館）

期間：令和3年7月10日（土）～令和3年8月31日（火）

会場：埼玉県立川の博物館 第2展示室及び第1展示室スロープ

概要：身を守る、餌を取る、子を育てるといった様々な目的で作られる動物の多様なすみかを写真や実物、資料で紹介する。

(3) 企画展示の実施（うち1回は前年度から継続）

① タイトル：「新収集品展」

期間：令和3年4月1日（木）～令和3年6月20日（日）※前年度から継続

会場：企画展示室

概要：平成27年度から現在までに収集した1万点を超える資料の中から、選りすぐりのものを紹介する。

② タイトル：「ジオパーク秩父へ出かけよう！」

期間：令和3年7月3日（土）～令和3年10月17日（日）

会場：企画展示室

概要：ジオパーク秩父の主要な見どころを取り上げ、現地での楽しみ方を紹介する。

③ タイトル：「生きものの名前」

期間：令和4年3月12日（土）～令和4年3月31日（木）

会場：企画展示室

概要：当館の収蔵資料を中心に、名前の由来や命名上のルールなどを紹介する。

(4) パネル展示の実施（うち1回は前年度から継続）

① タイトル：「自然博 研究最前線」

期間：令和3年4月1日（木）～令和3年6月20日（日）※前年度から継続

会場：2階廊下パネル展示コーナー

概要：自然の博物館が行っている調査研究を紹介する。

② タイトル：「関東のジオパーク」

期間：令和3年6月22日（火）～令和3年10月17日（日）

会場：2階廊下パネル展示コーナー

概要：関東地域のジオパークと、その見どころを紹介する。

③ タイトル：「絵葉書・パンフレットから見る明治・大正の秩父・長瀬」

期間：令和3年10月19日（火）～令和4年2月27日（日）

会場：2階廊下パネル展示コーナー

概要：明治から昭和初期の秩父を観光パンフレットや絵葉書・写真を通じて振り返る。

④ タイトル：「カメラで撮る標本の世界」

期間：令和4年3月1日（火）～令和4年3月31日（木）

会場：2階廊下パネル展示コーナー

概要：肉眼では伝わらない小さな標本の形や色などを、デジタルカメラで撮影した画像で紹介する。

(5) 共催展示の実施

① タイトル：「第12回自然科学展 さいたまの動物たち」

期間：令和3年7月17日（土）～令和3年8月29日（日）

会場：熊谷市立図書館

概要：埼玉に暮らす動物たちとその生息環境について紹介し、環境問題について考える機会を提供する。

3 教育普及事業

県民の自然に関する関心と理解を深めるため、体験学習等の機会を提供する。

- | | |
|---|----------|
| (1) 自然史講座 | 7回（7日） |
| (2) 観察会 | 7回（7日） |
| (3) ミュージアムトーク | 38回（38日） |
| (4) 各団体との共催・協力イベント | 6回 |
| (5) その他の事業 | 1回（1日） |
| (6) 学校教育や社会教育への学習支援 | |
| 要請に応じて地質分野、生物分野の出張授業や講演・講義、展示解説、自然体験プログラムを実施する。 | |
| (7) 研修会の受入れ | 2回（2日） |
| 県立総合教育センター主催の教員研修会を積極的に受け入れる。 | |
| ① 中学校5年経験者研修（教科別研修・理科） | 1回（1日） |
| ② 中学校初任者研修（教科別研修・理科） | 1回（1日） |
| (8) 博物館学芸員実習・職場体験等の受入れ | |
| ① 博物館学芸員実習（7日間） | |
| ② 中学生職場体験実習（3日間） | |
| ③ 大学生県庁インターンシップ（5日間） | |
| ④ 障害者県庁職場実習（職場体験コース）（3日間） | |
| (9) 自然の博物館友の会の活動への支援 | |
| 野外観察会（5回）、交流会（1回）の支援 | |
| (10) 各種印刷物の発行 | |
| ① 館報 第16号 | |
| ② 研究報告 第16号 | |
| ③ ミュージアムカレンダー（イベント年間予定表） | |
| ④ ニュースレター「澗」 第37号、第38号 | |
| ⑤ 特別展「自然の博物館100年の軌跡～標本陳列所から自然史の足跡をたどる～」 | |
| 展示解説書、ポスター及びリーフレット | |
| ⑥ 川の博物館特別展「すみか～身近なすみかを見てみよう～」 | |
| 展示解説書（執筆・編集）及びリーフレット（企画・構成） | |
| ⑦ 企画展「ジオパーク秩父へ出かけよう！」のポスター及びリーフレット | |
| ⑧ 企画展「生きものの名前」のポスター及びリーフレット | |
| ⑨ 展示解説リーフレット | |
| ⑩ 自然史講座や観察会のテキストや研究発表会の資料 | |
| ⑪ 自然の博物館利用促進のためのリーフレット | |
| (11) HP、Twitter の活用 | |

- ① 身近な自然分野について情報発信
- ② 特別展や企画展、イベント等について紹介
- (12) ボランティアの受入れと研修

生涯学習や自己実現の場を提供するとともに、ボランティアを重要なパートナーとして博物館活動の質を高める。

 - ① 展示解説ボランティア

観覧者の要望により展示解説を行う。 ※年4回の研修会を実施。
 - ② 普及事業ボランティア

観察会・講座等の事業の補助を行う。
 - ③ 資料整理ボランティア

学芸職員とともに、標本化作業を行う。
 - ④ 調査・資料収集補助ボランティア

学芸職員とともに、博物館の調査研究・資料収集を行う。

4 資料収集整理事業

自然に関する資料を収集・整理・保管し、県民に供するため、次の事業を実施する。
登録資料すべてのチェックを行う。

- (1) 化石資料及び岩石・鉱物系資料の整理と登録
- (2) 維管束植物の標本作製と整理、登録
- (3) 非維管束植物の標本作製と整理、登録
- (4) 無脊椎動物標本の同定と整理、登録
- (5) 脊椎動物の骨格標本及び触察剥製の作製と登録
- (6) 図書を除く二次資料の収集と整理
- (7) 定期刊行物を中心とする図書資料の整理
- (8) 「ジオパーク秩父」に関連する文献資料の収集と整理
- (9) 川の博物館の収蔵庫内に保管している自然史系資料の整理
- (10) インターネットを通じての収蔵資料の公開
- (11) 館内燻蒸のための臨時休館（令和3年9月6日（月）～9月13日（月）の予定）
- (12) 収蔵資料整理のための臨時休館（令和4年1月17日（月）～1月28日（金）の予定）
- (13) 登録資料データベースの共通化
- (14) 登録資料の全点チェック（複数年）

5 調査研究事業

- (1) 「埼玉の自然及び自然と人々との関わりに関する研究」

標記の総合研究テーマに基づき、分野ごとに研究テーマを設定し、調査研究を行う。研究の成果は、研究報告書等で公表し、展示・教育普及事業等で活用するように努める。

分野別研究テーマ

 - ① 自然分野：埼玉の自然に関する研究
 - ② 環境分野：埼玉の自然と人々の関わりに関する研究
- (2) 特別天然記念物カモシカ保護対策事業通常調査

カモシカ保護管理の基礎資料として活用される、カモシカ保護地域における生息環境・生息状況・食害状況に関する現地調査を行う。
- (3) 自然遺産基礎調査「入間川流域自然遺産調査」

4カ年計画の3年目で、初年度の予備調査に続く実質的調査の2年目にあたる。都市化が進む4市（飯能・狭山・入間・川越）を流れる入間川の山間から平地に至るまでの流域で、動植物の生息状況や環境、地形や露頭の調査を行い、県内の自然に関する基礎情報を集積する。
- (4) 次年度以降開催の特別展・企画展に関する調査研究
- (5) 外部研究者の受入れと活用

施設や収蔵資料を外部研究者の利用に供することにより研究活動を支援するとともに、共同研究を行うなど埼玉の自然に関わる情報を集積する。

VI 令和2年度事業報告

※新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館：

令和2年4月1日～令和2年5月31日、令和2年12月24日～令和3年3月21日

1 管理運営事業

埼玉の自然及び自然と人々の暮らしとの関わりに関する資料の収集、整理保管、調査研究及び教育普及、展示事業等を円滑に推進するため、自然の博物館全般の管理運営に努めました。

(1) 歳出決算 (単位：千円)

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
管理運営費	18,834	16,590	18,548	13,905
資料収集整理事業費	647	593	544	587
展示・教育普及事業費	7,188	8,517	16,451	13,701
国指定天然記念物の魅力発信とジオパーク秩父の活用事業	13,258	3,176		
合計	39,927	28,876	35,543	28,193

(2) 令和2年度観覧者状況

月	有料観覧者			無料観覧者			合計	開館日数	
	一般	学生・生徒	計	一般	学校等利用				計
					校数	人数			
4	0	0	0	0	0	0	0	0	
5	0	0	0	0	0	0	0	0	
6	2,954	52	3,006	2,002	0	0	2,002	5,008	25
7	3,644	81	3,725	2,392	1	29	2,421	6,146	27
8	7,692	356	8,048	5,162	0	0	5,162	13,210	27
9	3,167	186	3,353	1,977	0	0	1,977	5,330	21
10	2,581	150	2,731	1,362	10	466	1,828	4,559	27
11	5,423	244	5,667	2,820	8	272	3,092	8,759	26
12	1,022	32	1,054	541	2	57	598	1,652	20
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	1,089	51	1,140	909	0	0	909	2,049	8
合計	27,572	1,152	28,724	17,165	21	824	17,989	46,713	181

(3) 施設の利用状況

① 講堂 5件

番号	申請者	利用日
1	埼玉県環境部水環境課	R2.9.21
2	埼玉県立自然の博物館友の会	R2.9.25
3	秩父まるごとジオパーク推進協議会	R2.11.12
4	埼玉県立自然の博物館友の会	R2.12.11
5	埼玉県立自然の博物館友の会	R3.3.16

② 会議室 1件

番号	申請者	利用日
1	秩父まるごとジオパーク推進協議会	R2.9.15

2 展示事業

県民の多様なニーズに応えるため、展示を充実するとともに次の事業を実施しました。

(1) 常設展示の充実、改修、補修と維持管理

① 常設展示の充実

生物展示ホール及び岩畳紹介コーナー、鳥コーナー、埼玉の生物コーナー、地学展示ホール、岩石・化石コーナーの展示物を定期的に交換し、資料の劣化を防ぐとともに、目新しさを演出しました。

② 「体験ゾーン」の維持管理

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ディスカバリーコーナーは利用を中止しました。

(2) 特別展の実施 * ()は副担当

① タイトル：「埼玉記念物100年～埼玉の天然記念物ってどう思いますか?～」

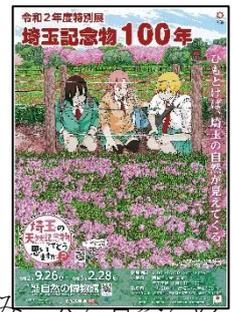
期 間：第1部 動植物編 令和2年9月26日(土)
～令和2年12月27日(日)
第2部 地質編 令和3年1月5日(火)
～令和3年3月20日(日)
※第2部は臨時休館に伴い未公開のまま終了

会 場：企画展示室

見 学 者：15,806名

担 当：須田(半田)

概 要：県内の天然記念物を詳しく紹介し、地域の自然の成り立ちや仕組み、人と自然との関わりについて解説。人気漫画「埼玉の女子高生ってどう思いますか?」とのコラボや、動物園・水族館との共催でシールラリーも実施。



② タイトル：「楽しい美味しい江戸の水辺」

(企画：自然の博物館、運営：川の博物館)

期 間：令和2年7月11日(土)～令和2年9月6日(日)

会 場：県立川の博物館 第2展示室

見 学 者：13,511名

担 当：木山(奥村)

概 要：浮世絵に描かれた自然と人の暮らしとの関わりについて、江戸時代からの変遷をたどる。



(3) 企画展示の実施 * ()は副担当

① タイトル：「地図と模型で見る埼玉の大地」

期 間：令和2年4月1日(水)～令和2年8月30日(日)

会 場：企画展示室

見 学 者：24,364名

担 当：井上(小林)

概 要：大地の成り立ちと生活や自然災害との関わりについて、地図と模型によって埼玉県地形や地質をわかりやすく紹介。



② タイトル：「新収集品展」

期 間：令和3年1月30日(土)～令和3年3月31日(水)

会 場：企画展示室

見 学 者：2,049名

担 当：小林(山岡)

概 要：平成27年度以降に新たに受け入れた、動物・植物・地質の各分野の資料を紹介。



(4) パネル展示の実施 * ()は副担当

- ① タイトル：「写真で見る埼玉県産鉱物」
期 間：令和2年4月1日（水）～令和2年6月21日（日）
会 場：2階廊下 パネル展示コーナー
見学者：24,364名
担 当：小林
概 要：埼玉県内で産出している鉱物を地図と写真で紹介。
- ② タイトル：「天然記念物キャラクター大集合！」
期 間：令和2年6月23日（火）～令和2年10月18日（日）
会 場：2階廊下 パネル展示コーナー
見学者：18,648名
担 当：山岡
概 要：埼玉県内の天然記念物キャラクターとその特徴について紹介。
- ③ タイトル：「#埼玉巨樹番付」
期 間：令和2年10月20日（火）～令和3年1月17日（日）
会 場：2階廊下 パネル展示コーナー
見学者：1,652名
担 当：半田（鐵）
概 要：埼玉県にある巨樹を番付表にして紹介。
文化資源課のSNSキャンペーンと連携。
- ④ タイトル：「自然博 研究最前線」
期 間：令和3年1月30日（土）～令和3年3月31日（水）
会 場：2階廊下 パネル展示コーナー
見学者：2,049名
担 当：高橋（鐵）
概 要：自然の博物館で行われている調査研究を紹介。

(5) 共催展示の実施（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

- ① タイトル：「調べよう！郷土の自然～虫のいどころ・さがしかた～」
期 間：令和2年7月11日（土）～令和2年8月30日（日）
会 場：羽生市立郷土資料館
見学者：一名
担 当：半田（曾根崎）
概 要：多様な昆虫の生態や採集器具や方法を紹介。

(6) 音声ガイド(展示物解説用具)利用実績

月	貸出数	月	貸出数
R2年4月	※	R2年10月	※
R2年5月	※	R2年11月	※
R2年6月	※	R2年12月	※
R2年7月	※	R3年1月	※
R2年8月	※	R3年2月	※
R2年9月	※	R3年3月	※
		合 計	0

※新型コロナウイルス拡大予防対策のため臨時休館及び
新型コロナウイルス感染予防対策のため使用中止

3 教育普及事業

県民の自然に関する関心と理解を深めるため、以下のような体験学習等の機会を提供しました。

全事業の参加者の合計 9816 名

(1) 自然史講座

4 回 (4 日) 参加者 79 名

期 日	タイトル	内 容	参加者数	担当者
5.30(土)	水生昆虫の採集と観察	梅雨入り前の荒川や周辺の止水環境で、カゲロウ、カワゲラ、トビケラ、ヤゴをはじめとする水生昆虫を採集して比較する。	※	半田 曾根崎
6.6(土)	地形模型をつくろう	本格的な積層模型をつくりながら、関東平野の地形・地質について学ぶ。	※	井上 山岡
7.22(土)	昆虫標本をつくろう	複雑な形をしている昆虫を詳しく調べるには標本の作製が必要不可欠である。そんな昆虫の標本作りに挑戦。標本の役割を学び、正しい標本作りを体験する。	7	半田 曾根崎
9.26(土)	講演会 「みんなで守る！ 天然記念物」	天然記念物の指定や保存の最前線で活躍している方々を招き、それぞれの天然記念物の素晴らしさ、保全活動の内容、苦労や醍醐味などについて、講演いただいた。	25	鐵 半田
10.24(土)	鉱物図鑑づくり	実物の鉱物標本を使って鉱物図鑑を作りながら、鉱物の基本や性質を学ぶ。	20	小林 山岡
12.5(土)	研究発表会 普及講演「武蔵野台地の 天然記念物」	県民向けに、地質、植物、動物などの様々な分野から、学芸員の調査研究の成果や自然分野の話題について発表。	27	半田 小林
1.30(土)	岩石学のススメ (野外編)	荒川の石の同定ができることを目標に、簡単な岩石の見分け方のレクチャーをした。そのあと、河原に行き、岩石の見分け方の実習。	※	小林 山岡
2.20(土)	講演会 「秩父発、ジオ・トラベル 2 億年!!」	日本列島の成り立ちや、その中における埼玉県及び秩父地域の位置付けについて、産業技術総合研究所研究主幹 高橋雅紀氏がわかりやすく解説する。簡単な厚紙模型の製作も行う。	※	井上 山岡
2.27(土)	化石のレプリカづくり	実物からレプリカをつくり、化石と見比べながら色を付けて本物そっくりに作り上げる。	※	山岡 高橋

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

(2) 観察会

2回(2日)参加者19名

期 日	タイトル	内 容	参加者数	担当者
4.25(土)	春の長瀬岩畳	長瀬駅を起点に、のんびりと春の岩畳の自然を観察しながら博物館まで歩く。	※	小林 鐵 秋山
5.16(土)	挑戦！アケボノゾウ足跡化石発掘調査	入間川に露出している地層の観察やアケボノゾウの足跡化石の発掘調査を体験。	※	山岡 井上 森田
6.27(土)	国蝶 オオムラサキを見よう	嵐山町にある「オオムラサキの森 蝶の里公園」で自然観察を行い、この時期に現れる国蝶オオムラサキを初めとする夏の昆虫をメインに自然観察。	※	半田 曾根崎 秋元
7.11(土)	天然記念物観察会 初夏の平林寺で自然観察	国の天然記念物に指定された平林寺境内林で昆虫や植物などをメインに自然観察観察。	※	須田 曾根崎 秋元
7.18(土)	ヤマユリと夏の植物観察	国指定史跡「菅谷館跡」に自生している、約 500 株ものヤマユリをはじめ、草地や雑木林にみられる夏の植物を観察。	※	鐵 曾根崎
8.1(土)	天然記念物観察会 国内最後のムジナモ自生地を訪ねる	国内最後のムジナモ自生地として国の天然記念物に指定されている宝蔵寺沼。夏の暑い時間にだけ開く、幻の花ムジナモ。水族館で栽培されているムジナモを観察した後、自生地を訪ねムジナモの開花を観察。	3	須田 鐵 曾根崎
9.19(土)	天然記念物観察会 古秩父湾化石発掘バスツアー	天然記念物指定地をバスで巡り、古秩父湾について学び、化石採取を行うバスツアー。	※	山岡 小林
11.28(土)	天然記念物観察会 日本最大の内陸砂丘を見よう	古利根川沿いに点在する河畔砂丘は日本最大規模を誇り、そのうち5箇所が県天然記念物に指定されている。志多見砂丘周辺を散策し、古代・中世の利根川の流れや、火山噴火との関係を学ぶ。	16	井上 山岡 曾根崎

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

(3) ミュージアムトーク *全日：日曜日

0回(0日)参加者0名

期日	タイトル	参加数	担当者	期日	タイトル	参加数	担当者
4.5		※	井上	11.8		※	山岡
4.12		※	曾根崎	11.15		※	高橋
4.19		※	須田	11.22		※	鐵
4.26		※	半田	11.29		※	曾根崎
5.10		※	小林	12.6		※	小林
5.17		※	鐵	12.13		※	井上
5.24		※	山岡	12.20		※	山岡
5.31		※	須田	12.27		※	高橋
6.7		※	井上	1.10		※	半田
6.14		※	山岡	1.17		※	曾根崎
6.21		※	小林	1.31		※	鐵
6.28		※	半田	2.7		※	山岡
9.6		※	曾根崎	2.14		※	小林
9.20		※	鐵	2.21		※	井上
9.27		※	山岡	2.28		※	曾根崎
10.4		※	高橋	3.7		※	高橋
10.11		※	井上	3.14		※	半田
10.18		※	曾根崎	3.21		※	山岡
10.25		※	小林	3.28		※	曾根崎

11.1		※	半田				
------	--	---	----	--	--	--	--

(4) 各団体との共催・協力イベント

3回(3日)参加者257名

期 日	タ イ ト ル	内 容	会 場	参加者数
7.4(土)	田島ヶ原サクラソウ 自生地国指定 100 年 記念フォーラム (さいたま市教委共催)	サクラソウ天然記念物指定 100 年 について講演。	武蔵浦和コミュニ ティセンター	※1
7.23(木)	特別展関連事業 体 験イベント「投網に触 れてみよう」	浮世絵に描かれたと網の体験。	川の博物館	62
7.26(日)	かわはく夏まつり自 然博ブース	かわはく夏まつり会場に自然博の ブースを設け、イベントを開催。	川の博物館	※1
8.10(月)	昆虫標本をつくろう (羽生市立郷土資料館との共催)	昆虫標本の特徴や作り方を解説 し、実際にスズメバチとチョウの 標本を作製。	羽生市立 郷土資料館	※1
8.10(月)	展示解説会 (羽生市立郷土資料館との共催)	共催展「調べよう！郷土の自然～ 虫のいどころ・さがしかた～」の 展示解説。	羽生市立 郷土資料館	※1
8.23(日)	特別展関連事業 落 語会「落語で楽しむ江 戸の暮らし」	特別展に関わる内容の古典落語を 聞き、当時の生活の様子を知る。	川の博物館	52
10.17(土)	埼玉県立総合教育セ ンター 一般公開 集まれ!“センター探 検隊” (県立総合教育センター主催)	顕微鏡を使用している昆虫・土壌生 物の観察。飛ぶタネの模型をつく り飛ばす体験。	県立 総合教育センター	※1
11.14(土)	かわはく秋まつり 自然博ブース	新型コロナウイルス感染拡大防止 のため規模を縮小して実施。その ため、川の博物館が主催する各種 イベントの支援。	川の博物館	
12.1(火) ～ 3.31(水)	天然記念物に会いに 行こう！ キャンペーン	当館の特別展と天然記念物を飼 育・展示している動物園・水族館を めぐるシールラリー	・自然の博物館 ・埼玉県子ども 動物自然公園 ・さいたま水族館	※2 143

※1 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

※2 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催変更

(5) その他事業

3回(15日)参加者7,643名

期日	タイトル	内容	会場	参加者数
4.1(水) ～ 5.6(水)	古秩父湾 スタンプラリー	天然記念物「古秩父」に指定された露頭5か所と当館の計6か所を巡るスタンプラリー。	自然の博物館 露頭5か所	※1
4.28(火) ～ 6.28(日)	青もみじ ライトアップ	長瀬観光協会とタイアップして、館庭のライトアップを実施。	自然の博物館	※1
5.13(水)	ボランティア 展示解説研修	ボランティア解説員の力量を高めるため、昨年度の反省をもとに意見交換を行い、それに対する改善策等についての研修会。	自然の博物館	※1
7.15(水)	ボランティア 展示解説研修	ボランティア解説員の力量を高めるための、企画展、パネル展に関する研修会。	自然の博物館	※1
8.11(火) ～ 8.23(日)	夏休み 自由研究展示室	「夏休み自由研究相談室」を新型コロナウイルス感染拡大防止のため「夏休み自由研究展示室」に変更。自由研究の参考となる作品を展示。	自然の博物館	※2 6,758
9.29(火)	ボランティア 展示解説研修	ボランティア解説員の力量を高めるための、特別展、パネル展に関する研修会。	自然の博物館	7
11.13(金) ～ 11.23(月)	紅葉 ライトアップ	長瀬観光協会とタイアップして「カエデの森」の他、館庭のライトアップを実施。	自然博敷地内 カエデの森	※1
11.14(土)	県民の日 記念イベント	県民の日クイズ、来館記念水晶プレゼント、友の会のブース設置等。	自然の博物館	878
3.19(金)	ボランティア 展示解説研修	ボランティア解説員の力量を高めるための、企画展、パネル展に関する研修会。	自然の博物館	※1

※1 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

※2 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催変更

<参考> ※p.14 記載 『パネル展 #埼玉巨樹番付』は下記事業の結果をまとめたもの

期日	タイトル	内容	会場	投稿数等
8.1(土) ～ 10.7(水)	#埼玉巨樹番付 (主催：文化資源課)	県内の巨樹の写真をインスタグラムで募集し、人気投票を行う SNS参加型企画。	SNS上	投稿数 199件 投稿者数 71人 投票数 12,364票

(6) 学校、社会教育関係団体等への学習支援**24 件 人数 855 名**

理科や総合的な学習の時間、環境教育等において、出前授業の実施、講義・講演会の講師派遣により支援を行いました。

① 学校への支援**17 件 人数 657 名**

番号	日時	学校名・学校関係団体名	学年	人数	種別	内容
1	9.3(木)	秩父市立高篠小学校	小4	43	体験学習	水生昆虫の観察
2	9.7(月)	皆野町立三沢小学校	小6	7	出前授業	土地のづくり
3	10.7(水)	埼玉県立児玉白楊高等学校	高3	14	体験学習	水生昆虫の観察、植物標本づくり
4	10.7(水)	狭山市立柏原中学校	中2	90	体験学習	虎岩の観察
5	10.8(木)	深谷市立深谷西小学校	小6	92	出前授業	土地のづくり
6	10.14(水)	横瀬町立横瀬小学校	小6	76	出前授業	古秩父湾について
7	10.16(金)	秩父市立吉田小学校	小6	41	体験学習	岩畳の観察
8	10.16(金)	小鹿野町立両神小学校	小5	26	体験学習	岩畳の観察
9	10.27(火)	皆野町立国神小学校	小6	10	出前授業	古秩父湾について
10	10.29(木)	秩父市立秩父第一小学校	小6	25	体験学習	化石採取
11	10.30(金)	さいたま市立大宮北高等学校	高校生	11	体験学習	岩畳の観察、水生昆虫の観察
12	11.19(木)	熊谷市立長井小学校	小6	50	出前授業	土地のづくり
13	11.20(金)	長瀬町立長瀬第二小学校	小5	11	その他	長瀬に生息する動物(インタビュー)
14	11.26(木)	熊谷市立妻沼南小学校	小6	30	出前授業	土地のづくり
15	12.1(火)	長瀬町立長瀬第一小学校	小5	41	体験学習	岩畳の観察
16	12.4(金)	自由学園初等部	小5	33	体験学習	化石採取
17	3.5(金)	皆野町立皆野小学校 <※事前研修：2.25(木)>	小3	57	出前授業	化石のレプリカ

② 社会教育関係団体等への支援**7 件 人数 198 名**

番号	日時	社会教育関係団体・施設名	学年	人数	種別	内容
1	8.2(日)	埼玉県立久喜図書館	小学(低学年)	29	体験学習	土壌生物の観察
2	8.7(金)	桶川市歴史民俗資料館	小学生	12	体験学習	葉脈標本づくり
3	9.2(水)	秩父市市民部中央公民館	一般	50	講座・講演	埼玉の自然
4	9.13(日)	埼玉県立自然の博物館友の会	一般	38	体験学習	埼玉県の地形、地質
5	9.18(金)	埼玉県埋蔵文化財調査事業団	一般	40	講座・講演	埼玉県の地形、地質
6	9.21(月)	埼玉県環境部水環境課	小5・6	21	体験学習	水生昆虫
7	10.26(月)	黒部川扇状地研究所	一般	8	体験学習	岩畳の観察

(7) 各種研修会・教育研究団体の受入れ

県立総合教育センター主催の教員研修会を掲載。

1回(1日)参加者38名

(10.29(木)中学校初任者研修(理科)については、「教員のための博物館の日」に位置付ける。)

期 日	タイトル	内 容	参加者数	担当者
9.17(木)	中学校5年経験者研修教科等コース(理科)	「埼玉産岩石標本の同定方法」の観察実習。	※	小林 森田
10.16(金)	動植物の観察	天覧山の動植物の観察	38	曾根崎
10.29(木)	中学校初任者研修教科別研修(理科)	博物館の利用方法の説明や荒川河川敷での自然体験プログラムの実践。	※	森田

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

(8) 博物館学芸員実習・職場体験等の受入れ

1回(5日)参加者9名

期 日	タイトル	内 容	参加者数	備 考
8.4(火)～8.12(水) 8.9(日)、8.10(月)は休み	博物館学芸員実習	展示・資料整理・教育普及等博物館業務の実務実習。	9	東京農業大学(2) 日本大学(2) 帝京科学大学 立正大学 日本女子大学 北里大学 琉球大学
8.27(木)～8.31(月)	県庁インターンシップ	入館者対応の補助業務、博物館グッズの袋づめなど業務の補助。	※	
2.26(水)～2.28(金)	障害者県庁職場実習	広報用グッズづくりの実習。	※	

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

(9) 自然の博物館友の会の活動への支援

2回(2日)参加者916名

期 日	タイトル	内 容	参加者数	担当者
5.10(日)	岩畳の自然観察会	春の岩畳観察会に同行し解説。	※	山岡 曾根崎
5.22(日)	植物観察会	玉原湿原(群馬県)での植物観察会に同行し、解説した。	※	須田
6.14(日)	動物観察会	寄居町中間平の動物観察会に同行し解説。	※	半田
7.19(日) 7.20(月)	宿泊観察会	長野県乗鞍岳と千畳敷カールの植物観察会に同行し解説。	※	木山
9.13(日)	総合観察会	長瀬町野上下郷岩田の観察会に同行し、解説した。	38	井上
11.14(土)	県民の日イベント	ミニショップの運営と友の会の活動内容を紹介するブースを提供。	878	山岡 曾根崎
1.31(日)	地質観察会	深谷市荒川左岸で化石を中心とした地質観察会に同行し解説。	※	山岡
2.14(日)	交流会	自然の博物館で、動物・植物・地質の各分野の話題提供後の情報交換での指導助言。	※	曾根崎

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

(10) ボランティアスタッフの受入れ

生涯学習や自己実現の場を提供し、博物館活動の質を高めることを目的とする重要なパートナーとして、受け入れました。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動休止(展示解説:4月1日~3月31日、その他:4月1日~6月1日・12月24日~3月21日)

ボランティアスタッフ 21名(①~④の重複者あり) 延べ活動日数 31日

- | | | |
|-------------------|-----|-------------------|
| ① 展示解説ボランティア | 10名 | 観覧者に対する展示解説。 |
| ② 普及事業ボランティア | 15名 | 観察会・講座等の事業の補助。 |
| ③ 資料整理ボランティア | 13名 | 標本化作業の補助。 |
| ④ 調査・資料収集補助ボランティア | 11名 | 博物館の調査研究・資料収集の補助。 |

(11) 各種印刷物の刊行・配布

特別展や企画展、各イベント等あるいは博物館の活動を広く周知するため、下の表1のとおりポスター、リーフレット、チラシ、図録を作製・配布しました。

(表中の「主な配布先」の記号については、表2を参照)

表1

印刷物名	部数	主な配布先
埼玉県立自然の博物館報 第15号	100部	B
埼玉県立自然の博物館研究報告 第15号	600部	BFG
イベント展示案内(ミュージアムカレンダー) ①前期・②後期(年間イベント案内)	①100,000部 ②30,000部	ABCDEF
自然の博物館ニュースレター「澗」 第35号~第36号	900部	BFG
特別展「埼玉記念物100年ー埼玉の天然記念物ってどう思いますか?ー」 ①ポスター ②チラシ ③リーフレット	①640部 ②15,000部 ③20,000部	BCDEFG BCDEFG 館内のみ
特別展関連書籍埼玉県立自然の博物館フィールドガイド「埼玉の自然誌」	1,200部	BFG
川の博物館特別展「楽しい美味しい江戸の水辺」 ①ポスター ②リーフレット ③図録	①400部 ②20,000部 ③700部	ABCDEFG
「天然記念物に会いに行こう!」シールラリー チラシ兼台紙	100,000部	ABF
企画展「新収集品展」 ①ポスター ②チラシ	①400部 ②15,000部	BCDEFG

表2

A	県内小・中学校及び市町村教育委員会
B	県庁内関係各課、博物館、地域振興センター、図書館等県の施設
C	長瀬町観光協会、長瀬町内各事業所(店舗、観光施設等)
D	県北地域の道の駅、宿泊施設、観光施設等
E	秩父鉄道、西武鉄道の各駅及び関連施設
F	市町村文化会館、公民館、図書館等の公共施設
G	県外博物館

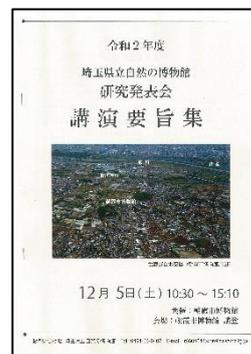
そのほか、自然史講座や観察会のテキスト、展示解説リーフレット、自然の博物館利用ガイドブックテキストなどを必要に応じて作成・印刷し配布しました。



ミュージアムカレンダー



天然記念物に会いに行こう!シールラリー



研究発表会要旨集



ニュースレター「澗」

(12) レファレンス数

一般市民をはじめ、マスメディア各社等へのレファレンス数は次のとおりです。

月	動物分野	植物分野	地質分野	その他	合計
令和2年4月	1	3	3	0	7
令和2年5月	7	7	2	0	16
令和2年6月	15	6	12	1	34
令和2年7月	16	7	14	0	37
令和2年8月	17	4	25	2	48
令和2年9月	3	7	14	0	24
令和2年10月	7	14	19	0	40
令和2年11月	8	2	17	1	28
令和2年12月	5	0	16	0	21
令和3年1月	2	0	5	0	7
令和3年2月	2	1	1	1	5
令和3年3月	6	1	12	0	19
合計	89	52	140	5	286

レファレンス対応を行った主なマスメディアは、NHK テレビ、テレビ埼玉、毎日新聞、東京新聞、埼玉新聞等。

(13) 広報・広聴の推進

ア Web（ホームページ、ツイッター）での情報発信とアクセス数

特別展や企画展、各イベントに関する情報をはじめ、周辺で見られた季節の移り変わりの様子や出来事などをホームページやツイッターで情報発信しました。

	ホームページ		ツイッター	
	アクセス数	更新回数	ツイート数	ツイートインプレッション数
令和2年4月	23,979	13	16	121,564
令和2年5月	34,182	11	17	923,753
令和2年6月	42,636	16	15	268,912
令和2年7月	71,920	8	11	99,241
令和2年8月	93,477	13	12	102,732
令和2年9月	110,561	8	9	104,781
令和2年10月	88,067	12	10	80,305
令和2年11月	55,701	19	10	112,791
令和2年12月	29,746	11	12	139,803
令和3年1月	24,282	8	11	76,101
令和3年2月	29,609	14	9	68,630
令和3年3月	38,998	15	8	134,800
合計	643,158	148	140	2,233,413

* インプレッションとは、ツイートが表示された回数を表す。

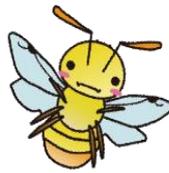
イ メディア等への情報提供

特別展・企画展や各イベント情報及び当館概要の提供先は下表のとおりです。

種類	主 な 提 供 先
新聞 テレビ ラジオ	埼玉県政記者クラブ（埼玉新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、産経新聞、日本経済新聞、東京新聞、日刊工業新聞、公明新聞、フジサンケイビジネスアイ、共同通信、時事通信、NHK、テレビ東京、テレビ埼玉、日本テレビ、TBS、フジテレビ、テレビ朝日）、NACK5、埼玉中央よみうり、埼玉北よみうり、埼玉東よみうり、FM 茶笛
web	○県関連サイト ちよこたび埼玉（埼玉県公式刊行サイト）、生涯学習ステーション、自然大好きクラブ、イーシティさいたま、まいたま ○その他各事業者運営サイト Nearby Tokyo、るるぶ kids、ナビタイムジャパン、協同組合インフォメーション、イベントバンク、Dokka!おでかけ探検隊、いこーよ、ジョルダン、彩北なび！、リビングさいたま、kadokawa ニュースウォーカー、まっふる、秩父おもてなし TV
広報紙 機関紙 情報誌等	○地方自治体関係 県教委だより、彩の国だより、県民手帳、羽生市 ○その他各事業者 秩父鉄道広報紙「パレット」、なびまる秩父、全科協ニュース、ピースな時間、リセマム、NEXT、ショッパー、ちちぶマガジン、武州路、西武鉄道ニュース、あんふあん



いたやん



ぶんまる



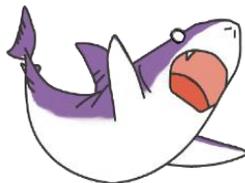
ほそかわさん



だいこくん



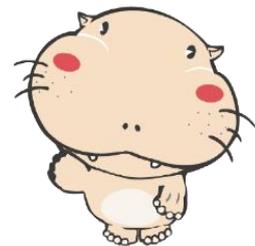
西川親方



どんちゃん



におしめ



大野原おさむ

4 資料収集整理事業

自然に関する資料を収集・整理・保管し、県民に供するため、次の事業を実施しました。

(1) 資料の登録(令和2年度新規登録資料) 合計3,224点

① 地質分野の標本の登録

・ 鉱物(Mi)	80	・ 化石 植物化石(P1F)	1
・ 化石 脊椎動物化石(VeF)	144	・ 化石 無脊椎動物化石(MoF)	1,283
・ その他無脊椎動物化石(OIF)	105	・ 化石 生痕化石(TrF)	14
		合計	1,627

② 動物分野の標本の登録

・ 哺乳類(Ma)	1	・ 魚類(Pi)	10
・ 昆虫 無翅昆虫(Am)	188	・ 甲殻類(Cr)	14
・ 昆虫 有翅昆虫(In)	1,120		
		合計	1333

③ 植物分野の標本の登録

・ 種子植物 被子植物(As)	138	・ シダ植物(Pt)	25
・ 裸子植物(Gy)	1	・ 植物スライド(P1S)	45
		合計	209

(2) 現有資料点数(令和2年度新規登録資料含む)

〈地 質〉

岩石(Ro)	1,404	化石 藻類化石(A1F)	113
岩石・鉱物スライド(RMS)	688	化石 脊椎動物化石(VeF)	818
鉱物(Mi)	5,460	化石 甲殻類化石(CrF)	327
地質構造標本(Gs)	40	化石 昆虫化石(InF)	237
第四紀火山砕屑物(Qu)	42	化石 無脊椎動物化石(MoF)	4,921
その他地質資料(OG)	649	化石 その他無脊椎動物化石(OIF)	777
ボーリング資料(Bo)	68	化石 スライド(AFS、PFS、OFS)	1,665
化石 植物化石(P1F)	2,430	化石 生痕化石(TrF)	106
		合計	19,747

〈動 物〉

脊椎動物 哺乳類(Ma)	600	節足動物 クモ類(Ar)	19
鳥類(Av)	907	節足動物 ダニ類(Ac)	1
爬虫類(Re)	155	節足動物 その他の蛛形類(Ad)	2
両生類(Am)	203	節足動物 甲殻類(Cr)	111
魚類・円口類(Pi)	223	節足動物 多足類(My)	22

昆虫類	有翅昆虫類(In)	26,795	無脊椎動物	軟体動物(Mo)	1,965
	無翅昆虫類(Ap)	36,638		その他の無脊椎動物(Iv)	26
合計					67,667

〈植 物〉

種子植物	被子植物(As)	58,496	菌類(Fu)	3,005
	裸子植物(Gy)	451	地衣類(Li)	8,592
シダ植物(Pt)		6,926	藻類(AI)	22
コケ植物(Br)		3,161	植物スライド(PIS)	303
合計				80,956
総計				168,370 (年比増加数 3,224)

(3) 受入資料

本年度に受け入れた資料は以下のとおり。

① 寄贈資料

番号	分野	資 料 名	点数	寄贈日
1	動物	ハエ類標本	6317 点	R2. 10. 29
2	動物	カマアシムシ類プレパラート標本	188 点	R3. 1. 5
3	植物	現生花粉プレパラート	45 点	R3. 1. 5
4	動物	水生生物 (甲殻類、魚類) 標本	24 点	R3. 1. 16

② 提供資料

地質 3 件、植物 9 件、動物 7 件

* 「提供資料」とは、同定や標本化等が必要となる未整理の状態を受け入れたもの。これらの資料は標本化していないものも含む。

(4) 資料管理

・ IPM に基づいた環境調査

館内 39 カ所に捕虫器を仕掛け、毎月 1 回 (月末) に回収、捕獲したものの中から資料に影響を及ぼす可能性のある昆虫を確認し、それに基づく環境管理を行なった。

・ 収蔵資料点検

館有資料所在点検実施計画に基づき、本年度に確認した館有資料は以下のとおり。

分 野	照合点数	実施回数
動 物	3,579 点	8 回
植 物	3,501 点	7 回
地 質	4,141 点	9 回
合 計	11,221 点	24 回

(5) 資料の特別利用

件数 11 件 点数 36 点

(6) 資料の館外貸出

件数 11 件 点数 105 点

(7) 館有資料の展示活用

- ① 館内での活用 合計 12,908 点
(内訳)
 - ・常設展 1,847 点
 - ・特別展「埼玉記念物 100 年 埼玉の天然記念物ってどう思いますか」 88 点
 - ・企画展「地図と模型でみる埼玉の大地」 3 点
 - ・企画展「新収集品展」 11,740 点
- ② 館外での活用 合計 0 点

(8) 収蔵資料の web 公開

収蔵資料の一部を画像として当館ホームページに公開している。

- ① ベストコレクション 10 点
- ② 分野別資料 67 点 (動物 25 点、植物 22 点、地質 20 点)

(9) 生物多様性標本情報データベースへの公開

全国の自然系博物館及び大学の収蔵標本情報を検索することができる「自然史標本情報データベース」に館有資料の情報を提供。提供件数 108,700 件

(10) 図書資料の収集・整理と活用

資料収集活動の一環として、自然史分野に関係した図書資料を収集。多くは当館刊行物との交換によるもの。

- ① 図書資料の収集・整理 442 冊 (文献交換によるもの含む)
- ② 文献交換状況

当館の研究報告・資料目録・展示図録・ニュースレターと、国内外の博物館、大学研究所などの文献と交換を行っている。

(交換先) 国内 298、国外 20

(11) 自然と川の博物館資料評価委員名簿 (令和 2・3 年度)

○専門委員 (敬称略)

氏名	役職
石田 健	元東京大学准教授
山口 征矢	東京海洋大学名誉教授
松原 聰	国立科学博物館名誉館員・名誉研究員
富田 幸光	国立科学博物館名誉研究員
木場 英久	桜美林大学教授
清水 晃	東京都立大学客員研究員 / (財) 進化生物学研究所客員研究員

※その他、行政委員として、会計管理課長、財務課長、文化資源課長

5 調査研究事業

(1) 総合研究テーマ「埼玉の自然及び自然と人々との関わりに関する研究」

標記のテーマに基づき分野別研究テーマと個人研究テーマを設け、調査研究にあたった。

- ① 分野別研究テーマ
 - ・自然分野：埼玉の自然に関する研究
 - ・環境分野：埼玉の自然と人々の関わりに関する研究

② 個人研究テーマ

- ・君島 勝秀 縄文時代における漆工に関する研究—埼玉領域を中心に—
- ・曾根崎 猛史 埼玉県産希少ハチ目の生息調査
- ・井上 素子 ①令和元年水害の被害状況について
②埼玉県における自然史及び博物学史に関する研究
- ・須田 大樹 ①県内の植生・維管束植物分布に関する研究
②コナラ属隔離分布種の生態に関する調査研究
- ・小林 まさ代 秩父山地に分布するマンガン鉱山とマンガン鉱物について
- ・奥村 みほ子 埼玉県内におけるネズミ類の生息状況の解明
- ・木山 加奈子 ①県内の植物・地衣類の分布に関する調査研究
②県内の二次的自然環境の由来や変遷に関する調査研究
- ・半田 宏伸 ①県内におけるセイボウ科の分布調査
②セイボウ亜科の生殖器官の形態比較と生態に関する研究
- ・山岡 勇太 埼玉県産の貝化石に関する研究
- ・高橋 美織 埼玉県の岩石に関する調査
- ・鐵 慎太郎 ①県内の維管束植物の分布に関する調査研究
②県内の河川沿いに生育する植物の生態に関する研究

(2) 研究業績の公表

(1)の研究の成果は、研究報告書等で公表し、展示・教育普及事業等で活用するよう努めた。

① 当館が発行した刊行物

ア 埼玉県立自然の博物館研究報告 第15号（ゴシック体：当館職員）

原著論文1件、短報8件を掲載。

○ 原著論文

埼玉県新産のクジュウツリスゲ（カヤツリグサ科）の生育立地

鐵 慎太郎・岩田 豊太郎・木山 加奈子・須田 大樹 1 - 8

○ 短報

チャシバスゲ（カヤツリグサ科）を埼玉県から記録

鐵 慎太郎・須田 大樹・木山 加奈子・岩田 豊太郎 9 - 12

埼玉県新産のアオフトバラン *Neottia makinoana*

岩浪 創 13 - 16

埼玉県新産のヌリトラノオ *Asplenium normale*

岩浪 創 17 - 20

埼玉県におけるミドリカナワラビ *Arachniodes nipponica* の初記録

石渡 孝行・佐藤 清・植田 雅浩・須田 大樹 21 - 24

埼玉県におけるタカサゴキララマダニの初記録（英文）

高橋 守・三角仁子・馬場 裕美・藤田信子・藤田博己 25 -

埼玉県で確認された外来種チュウゴクスジエビ *Palaemon sinensis*

内田大貴・山川宇宙・碧木健人・皆川優作・神田雅治 33 -

36

埼玉県におけるキボシケシゲンゴロウおよびキボシツブゲンゴロウの初記録

神田 雅治・岩田 泰幸・内田 大貴 37 - 40

埼玉県におけるマルミズムシおよびヒメマルミズムシの追加記録

神田 雅治・岩田 泰幸 41 - 44

イ ニュースレター「漣」

○ 35号

・令和2年度特別展「埼玉記念物100年—埼玉の天然記念物ってどう思いますか?—」

須田 大樹 2 - 3

・臨時休館中の取組について

秋元 清二 4

・新型コロナウイルス感染症予防対策に係る当館の取組について

秋元 清二 5

・新任学芸員紹介

山岡 勇太 6

・自然の博物館の四季

飯田 徹 7

・表紙写真解説

鐵 慎太郎 8

催し物のお知らせ(11月~3月)

秋元 清二 8

○ 36号

・令和2年度企画展「新収集品展」

博物館を支えるコレクション&コレクター

小林まさ代 2 - 3

・被災標本のレスキューを行いました

鐵 慎太郎 4 - 5

・埼玉県立自然の博物館 フィールドガイド

埼玉の自然誌~埼玉の自然を見る・感じる~

井上 素子 6

・オリジナルグッズの製作と販売

秋元 清二 7

・表紙写真解説

半田 宏伸 8

催し物のお知らせ(4月~10月)

秋元 清二 8

ウ 令和2年度研究発表会資料集(通算第26回)

普及講演 2件・研究発表 4件で、朝霞市博物館で行った研究発表会の資料をまとめたもの。

○ 普及講演

「足元を知ろう!武蔵野台地の成り立ち」

井上 素子

「文化財に見る武蔵野の自然と人とのかかわり~天然記念物を中心に~」

木山加奈子

○ 研究発表

「新人学芸員から見た埼玉の植物の面白さ」

鐵 慎太郎

「セイボウの生態学~ついに発見 絶滅危惧種ムサシトゲセイボウ~」

半田 宏伸

「化石から紐解く海産貝類の進化」

山岡 勇太

「埼玉のネズミ事情」

奥村みほ子

エ 特別展「埼玉記念物100年—埼玉の天然記念物ってどう思いますか?」関連書籍

埼玉県立自然の博物館フィールドガイド「埼玉の自然誌~埼玉の自然を見る・感じる~」

井上素子・須田大樹・奥村みほ子・小林まさ代・木山加奈子・半田宏伸・山岡勇太・

鐵慎太郎

- オ 特別展「埼玉記念物 100 年—埼玉の天然記念物ってどう思いますか？」解説リーフレット
埼玉おすすめ天然記念物 Map 地質編／動植物編 須田 大樹
- カ 特別展「楽しい美味しい江戸の水辺」展示解説書 中村 修美

② 個人論報文・発表

学芸職員による 10 件の論報文の公表、学会等での発表を行った。

- 井上 素子
 - ・埼玉新聞連載「地図と模型で見る埼玉の大地③」埼玉新聞社
 - ・埼玉新聞連載「地図と模型で見る埼玉の大地④」埼玉新聞社
 - ・埼玉新聞連載「地図と模型で見る埼玉の大地⑤」埼玉新聞社
- 森田 知貴
 - ・「埼玉教育 第 5 号」埼玉県立総合教育センター 「効果的な博学連携を目指して」
- 須田 大樹
 - ・天然記念物の過去、現在、未来（総括）. 自然の博物館特別展記念講演会「みんなで守る！天然記念物」.（口頭発表）
- 半田 宏伸
 - ・ムサシトゲセイボウの追加記録. 寄せ蛾記, (180) : 47-48.
 - ・タイリクセイボウ *Chrysis cavaleriei* (Buysson, 1908) の東京都初記録と寄主の考察. つねきばち, (36) : 75-76.
- 山岡 勇太
 - ・*Scolicia shirahamensis* isp. nov.: a triple-corded *scolicia* and its ichnological implications. *Ichnos*, (27): p. 300-306. (共著)
 - ・Large-sized cetacean fossils from the Tonohama Group in the Iwado area, Muroto City, Kochi Prefecture, Japan. *Bulletin of the National Science Museum. Series C*, (46): p. 79-86. (共著)
 - ・「まちなかジオツアー」で自分時間を楽しむ：富山市街地での取り組み，自然と社会—北陸一、（投稿中、令和 3 年度内掲載見込み）（共著）
- 鐵 慎太郎
 - ・黒田有寿茂，鐵 慎太郎. 2019. 海浜植物イソスミレの汀線—内陸傾度における出現位置. *植生学会誌*, 37 : 117-125.

(3) 特別天然記念物カモシカ保護対策事業（通常調査）

カモシカ保護地域における生息環境・生息状況・食害状況に関する調査を行い、カモシカ保護管理の基礎資料を得た。（期間：令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日）

(4) 自然遺産基礎調査「入間川流域自然遺産調査」

令和元年度からの 4 ヶ年計画の 2 年目で、実質的調査に入った。

①動物分野

- ・入間川の上流部にあたる飯能市の 2 ヶ所で、マレーズトラップを用いて昆虫調査を実施した。

・入間川上流から荒川との合流地点までの4か所で、哺乳類の生息調査を行なった。

②植物分野

③地質分野

(5) 外部研究者

① 外部研究者の受入れ

令和2年度に受け入れた外部研究者は以下の25名。

	氏名	テーマ	分野	担当者
1	石井克彦	「埼玉県におけるガロアムシの記録」および「県内外来種情報の収集」	動物1	曾根崎
2	岩田泰幸	埼玉県の水生昆虫類の生態及び分布に関する研究	動物2	曾根崎
3	碓井 徹	入間川流域の昆虫相データベースの構築	動物3	曾根崎
4	内田大貴	①埼玉県内の過去の魚類の生息データの蓄積と活用 ②県立自然の博物館に収蔵されていた茨城県北浦のゴクラクハゼ	動物4	曾根崎
5	大堀里奈	埼玉県における野ネズミの生息について	動物5	曾根崎
6	奥田恭介	埼玉県を中心としてカメムシ目昆虫相の研究	動物6	曾根崎
7	金子陽子	花粉分析による古環境の復元	地質1	井上
8	小林健助	花粉分析による古環境の復元	地質2	井上
9	坂本 治	秩父盆地産脊椎動物化石および地質関連資料についての調査研究	地質3	井上
10	佐藤 健	埼玉県内における緩歩動物門クマムシの生息分布状況の研究	動物7	曾根崎
11	鈴木幸枝	尾瀬ヶ原のボーリングコアを使用して関東地方の古植生を調べる	地質4	井上
12	清家一馬	日本の離島の地史の研究ならびに保護	地質5	井上
13	関根一昭	埼玉県秩父地域に分布する秩父帯、特に角礫岩の成因に関する地質学的研究	地質6	井上
14	平 誠	秩父地方におけるセツブンソウの繁殖生態とその特性	植物1	須田
15	田留健介	日本産地衣寄生菌の分類学的研究	植物2	須田
16	中村修美	カマアシムシ類の分類と生物地理	動物8	曾根崎
17	楡井 尊	関東内陸部における第四系の古環境と古気候変動に関する研究	地質7	井上
18	野澤雅美	埼玉県のカメムシ相に関する研究 カスミカメムシ類及びキジラミ類を中心として	動物9	曾根崎
19	逸見紀章	標本の作製と有効利用について	動物10	曾根崎

20	本間岳史	1 板碑の石材およびその採掘地等に関する研究 2 長瀨の地質および研究史に関する研究 3 ジオパークに関する研究	地質 8	井上
21	本多由巳子	尾瀬ヶ原のボーリングコアを使用して関東地方の古植生を調べる	地質 9	井上
22	町田和彦	哺乳類の生態および分類の研究 －特にコウモリ類を対象に－	動物 11	曾根崎
23	三上忠仁	埼玉県内の外来植物・希少植物調査ほか	植物 3	須田
24	山下 裕	加治丘陵・狭山丘陵における県希少植物の調査	植物 4	須田
25	吉田考造	地衣の分類学的研究とフローリスチックな研究	植物 5	須田

② 外部研究者による研究実績の公表（2021年2月現在）

○ 岩田 泰幸

太田圭祐・山崎 駿・冨樫和孝・岩田泰幸, 2020. 山梨県におけるコガタノゲンゴロウの記録. さやばねニューシリーズ, (40) : 57-58.

鷲 大洪・岩田泰幸, 2020. 埼玉県内で2017-2019年に確認したキマダラカメムシ. 寄せ蛾記, (177) : 37-38.

内田大貴・岩田泰幸, 2020. JR池袋駅前の路上で確認したハイイロゲンゴロウおよびSNSの反応についての考察. ニッチェ・ライフ, 8 : 36-39.

岩田泰幸, 2020. 文化財虫菌害研究所（東京都新宿区）における温湿度変化の比較. 文化財の虫菌害, (79) : 24-29.

山崎 駿・岩田泰幸・冨樫和孝・伴 光哲・碓井 徹, 2021. 山梨県におけるイトアメンボの初記録と千葉県で以前に記録されたイトアメンボ属の修正. *Rostria*, (66) : 印刷中. (2021年3月に刊行予定)

神田雅治・岩田泰幸・内田大貴, 2021. 埼玉県におけるキボシケシゲンゴロウおよびキボシツブゲンゴロウの初記録. 埼玉県立自然博物館研究報告, 15 : 41-44.

神田雅治・岩田泰幸, 2021. 埼玉県におけるマルミズムシおよびヒメマルミズムシの追加記録. 埼玉県立自然博物館研究報告, 15 : 37-40.

○ 碓井 徹

碓井 徹, 2020. 橋本良一 昆虫コレクション. 埼玉昆虫談話会総会. (講演)

碓井 徹, 2020. 上尾市自然学習館 指導員研修. (講師として3回講演)

碓井 徹, 2020. 入間川流域の昆虫相に関する予備的調査 報告書.

碓井 徹, 2020. 橋本良一コレクション報 (1). 寄せ蛾記, (177) : 11-18.

碓井 徹, 2020. 中国製竹箒に関する覚え書き (2). 寄せ蛾記, (177) : 21-29.

碓井 徹, 2020. 埼玉県のアサギマダラと標識調査 -補遺-. 寄せ蛾記, (177) : 41-43.

碓井 徹, 2020. 音楽の中の虫たち (14) 「シャミナード “トンボ”」. 寄せ蛾記, (177) : 69-70.

碓井 徹, 2020. タケオオツクツク *Platylomia pieli* の侵入と定着に関する考察. *Cicada*, 27 (1) : 11-18.

磯野治司・碓井 徹, 2020. 北本市内でシマアメンボの生息を確認. 寄せ蛾記, (179) : 37.
山崎 駿・岩田泰幸・富樫和孝・伴 光哲・碓井 徹, 2021. 山梨県におけるイトアメンボの初
記録と千葉県で以前に記録されたイトアメンボ属の修正. *Rostria*, (66) : 印刷中. (2021年
3月に刊行予定)

碓井 徹ほか (共著), 2021. さいたま市史 自然編 昆虫類. (2021年3月に刊行予定)

○ 内田 大貴

内田大貴・山川宇宙・碧木健人・皆川優作・神田雅治, 2021. 埼玉県で確認された外来種チュウ
ゴクスジエビ *Palaemon sinensis*. 埼玉県立自然の博物館研究報告, 15 : 33-36.

神田雅治・岩田泰幸・内田大貴, 2021. 埼玉県におけるキボシケシゲンゴロウおよびキボシツ
ブゲンゴロウの初記録. 埼玉県立自然の博物館研究報告, 15 : 41-44. (2021年3月に刊行予
定)

内田大貴・久保田潤一・金本敦志・中村孝司・舟木匡志, 2021. 神奈川県三浦市で確認されたガ
科魚類の外来魚 *Lepisosteus oculatus*. 神奈川自然誌資料, 42 : 印刷中. (2021年3月に刊
行予定)

内田大貴・北野 忠・佐野真吾・古旗峻一・渡部晃平, 2021. 奄美群島加計呂麻島で記録された
水生半翅類. *Rostria*, (66) : 印刷中 (2021年3月に刊行予定)

古旗峻一・内田大貴・栗田和弥, 2020. 東京都多摩川水系大丸用水で確認された魚類. 伊豆沼・
内沼研究報告, (14) : 113-122.

内田大貴・岩田泰幸, 2020. JR池袋駅前の路上で確認したハイイロゲンゴロウおよびSNSの
反応についての考察. ニッチェ・ライフ, 8 : 36-39.

内田大貴・伊豆川哲也, 2020. 小田原市および南足柄市の水田で確認された水生昆虫. 観音崎
自然博物館研究報告たたらはま. (24) : 34-37.

久保田潤一・金本敦志・舟木匡志・内田大貴・中村孝司・田中脩斗, 2020. 横須賀市でのかいぼ
りで確認されたイネネクイハムシ. 観音崎自然博物館研究報告たたらはま. (24) : 32-33.

河野宏和・内田大貴・舟木匡志・久保田潤一, 2020. 東京都武蔵村山市で確認されたアカギカメ
ムシ. 月刊むし, (599) : 51-52.

内田大貴・久保田潤一・舟木匡志・金本敦志・中村孝司, 2020. 東京都立野山北・六道山公園
(武蔵村山市・瑞穂町)で確認されたスゲハムシ. 月刊むし, (597) : 61-62.

内田大貴・山崎 駿, 2020. 千葉県におけるクナシリシジミガムシの追加記録. さやばねニュー
シリーズ, (40) : 18-19.

山崎 駿・内田大貴, 2020. 千葉県において採集されたマルヒラタガムシの記録. さやばねニュー
シリーズ, (39) : 30-31.

内田大貴・佐野真吾・山崎和哉・大森建策・石塚隆寛, 2020. 城里町で確認したヒメコミズムシ
の記録. 水戸昆虫研究会会報るりぼし, (49) : 88-89.

内田大貴・山崎和哉・大森建策, 2020. 潮来市の茨城大学広域水圏環境科学教育研究センター
周辺で採集された水生昆虫 (水生甲虫類及び水生半翅類). 水戸昆虫研究会会報るりぼし,
(49) : 11-15.

内田大貴・久保田潤一, 2020. 八王子市南浅川及び青梅市成木川で確認されたオナガミズスマ
シ属. うすばしろ, 印刷中 (2021年3月に刊行予定)

舟木匡志・東浜敬輔・久保田潤一・金本敦志・中村孝司・内田大貴, 2021. 都立野山北・六道山

公園でのかいぼり後に発生したオオクチバスの違法放流について. ボテジャコ : 印刷中 (2021年3月に刊行予定)

○ 奥田 恭介

奥田恭介, 2020. 日本からのモモブトトビイロサシガメ短翅型の記録. *Rostria*, 64 : 16-17.

奥田恭介, 2020. さいたま市緑区のカメムシ類 (昆虫綱 : カメムシ目). 埼玉県立自然の博物館 研究報告, 14 : 43-52.

奥田恭介, 2020. 秩父市でヒゲブトハナムグリを採集. 寄せ蛾記, (177) : 40.

奥田恭介, 2020. (解説) 猎蝽遊記～あなたの知らないサシガメの世界～. 寄せ蛾記, (177) : 1-10.

野澤雅美・奥田恭介・室 紀行, 2020. 埼玉県で新たに記録されるカメムシ類. 寄せ蛾記, (175) : 1-6.

野澤雅美・奥田恭介・室 紀行, 2020. 埼玉県で新たに記録されるカメムシ類 (2). 寄せ蛾記, (178) : 1-5.

奥田恭介, 2020. 野外におけるクロトビイロサシガメの捕食行動の観察. 寄せ蛾記, (179) : 39.

奥田恭介・川村 敦, 2020. 加須市におけるエサキアメンボの採集記録. 寄せ蛾記, (179) : 38.

奥田恭介・小松孝寛, 2020. 関東および九州からのトドマツアワフキの採集記録. *Rostria*, (65) : 15-16.

阿部眞大・奥田恭介, 2020. アシボソトビイロサシガメの茨城県からの初記録. *Rostria*, (65) : 47-48.

奥田恭介, 2020. ヒメカメムシの寄主植物としてヨモギを確認. *Rostria*, (66) : 64-65. (2021年3月に刊行予定)

奥田恭介・伊藤玲央・吉川明宏・小松孝寛, 2020. 奄美大島から初めて記録されるサシガメ科4種. *Rostria*, (66) : 73-74. (2021年3月に刊行予定)

○ 金子 陽子

楡井 尊・金子陽子・小林健介, 2020. 群馬県安中市における AT 直下の泥炭質堆積物の花粉分析. 日本花粉学会第 61 回大会. (2020年10月9日～10月31日, オンライン発表)

○ 平 誠

平 誠ほか (共著), 印刷中. 令和 2 年度「県内希少野生動植物種」植物種選定調査報告書. NPO 法人埼玉県絶滅危惧植物種調査団.

大塚和紀・山下 裕・平 誠・三上忠仁, 2021. 秋季現地調査会植物調査報告. 埼玉生物, (61). (2021年3月に刊行予定)

○ 中村 修美

埼玉県立自然の博物館 (編) (中村 修美ほか執筆), 2020. 令和 2 年度特別展「楽しい美味しい江戸の水辺」展示解説書. 53pp., 埼玉県立川の博物館.

○ 楡井 尊

楡井 尊, 2020. 群馬県安中市における AT 直下の泥炭質堆積物の花粉分析. p31, 日本花粉学会第 61 回大会講演要旨集.

Hitoshi SAKIO & Takashi NIREI, 2020. Is the *Fraxinus platypoda* androdioecy?. P-2 086,

Annual Meeting of the Ecological Society of Japan: Abstracts.

○ 野澤 雅美

野澤雅美, 2020. 埼玉県で採集されたベニナガムギカスミカメの記録. *Rostria*, (64) : 18-19.

野澤雅美, 2020. 埼玉県で採集されたヒイロカスミカメ属 *Pseudoloxops* 2 種の記録.

Rostria, (64) : 56-57.

野澤雅美・奥田恭介・室 紀行, 2020. 埼玉県で新たに記録されるカメムシ類. 寄せ蛾記, (175) : 1-6.

野澤雅美・奥田恭介・室 紀行, 2020. 埼玉県で新たに記録されるカメムシ類 (2). 寄せ蛾記, (178) : 1-5.

野澤雅美・山田量崇, 2020. 積み枯葉から発見された多数のズイムシハナカメムシ.

Rostria, (65) : 61-63.

○ 本間 岳史

本間岳史, 2020. 令和元年度 野外研講座・講演会・野外見学会. 野外調査研究, (4) : 1-5.

本間岳史, 2020. 令和元年台風第 19 号による長瀬の洪水被害. 野外調査研究, (4) : 129-143.

本間岳史, 2020. 「高レベル放射性廃棄物」はふやさない, 埋めない — 「化学的特性マップ」の問題点— (本の紹介). 野外調査研究, (4) : 163-165.

本間岳史, 2020. 埼玉県指定天然記念物に指定された「龍ヶ谷の障子岩 (断層鏡肌)». 野外調査研究, (4) : 182-183.

本間岳史, 2021. 1-3 地形・地質. pp. 17-21, 秩父市文化財保存活用計画. (2021 年 3 月に刊行予定)

○ 三上 忠仁

大塚和紀・山下 裕・平 誠・三上忠仁, 2021. 秋季現地調査会植物調査報告. 埼玉生物, (61). (2021 年 3 月に刊行予定)

○ 山下 裕

山下 裕 (監修), 2020. 天覧山・多峯主山の植物「秋・冬編」. 飯能市教育委員会.

大塚和紀・山下 裕・平 誠・三上忠仁, 2021. 秋季現地調査会植物調査報告. 埼玉生物, (61). (2021 年 3 月に刊行予定)

(6) 地方公共団体・関連団体への指導・助言

氏名	委員名等	依頼・委嘱	期間
井上素子	秩父まるごとジオパーク推進協議会運営委員	秩父まるごとジオパーク推進協議会会長	H31.4.1～ R2.3.31
須田大樹	埼玉県希少野生動植物種検討委員会委員	埼玉県知事 (みどり自然課長)	H31.4.1～ R2.3.31
須田大樹	武甲山特殊植物保護増殖委員会委員	横瀬町教育委員会	H31.4.1～ R2.3.31

須田大樹	自然史学会連合博物館部会委員	自然史学会連合会長	H31.4.1～ R2.3.31
須田大樹	石戸蒲ザクラ保存検討委員会委員	北本市教育委員会	H31.4.1～ R2.3.31
曾根崎猛史	ユネスコエコパーク保全活用委員会委員	山梨県森林環境部長	H31.4.1～ R2.3.31
鐵慎太郎	自然環境情報収集検討会委員	東京都環境局自然環境部 緑環境課	H31.4.1～ R2.3.31

6 2020 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた文化プログラム構築のための取組

- (1) 収蔵及び借用資料を用いた特別展「埼玉記念物100年—埼玉の天然記念物ってどう思いますか?—」の開催（令和2年9月26日～令和3年2月28日）
- (2) 古秩父湾化石発掘体験バスツアー（令和2年9月19日実施予定）
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止